



第79号

あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL047-482-4109 FAX047-482-4179

E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

スタートしました!

『小さなお手伝い』ボランティア活動で地域の支えあい

“介護保険制度のサービスではできない「少しのお手伝い」で、高齢者や障害のある人たちのちょっとした困りごとを解決し、住み慣れた地域での在宅生活を継続できるように!”を目的とし、ユーアイやちよ設立時の支えあいの精神、すなわち“できる人が、できる時に、できることを!”を基本に、これまでのボランティア活動をリセットして、8 か月が経ちました。

まだ、広く地域に PR できてはいませんが、まず、現在の当法人の利用者さんの中でのニーズに対応、当法人利用者以外でも、照会に対応できる協力者がいたので、小さなお手伝いを行っています。今後も、協力サポーターの登録者を増やし、困っている人の声に応えていきたいと思えます。

平成 30 年 5 月～12 月の実績

利用会員	6 名
協力サポーター	8 名
延べお手伝い回数	123 回
お手伝いの内容	ゴミ捨て (3 回/週、1 回/週、スポット) 診察券出しなど

当法人ご利用者様アンケート(9~10 月実施)結果について

依頼総数、約 335 人中 241 人の方からお返事があり、貴重なご意見を頂きました。多くの方から、ケアマネに対しては、誠実で迅速な対応、そして訪問介護員には笑顔で接する対応に、ご満足 (ほぼご満足) の評価を頂きました。が、一部訪問介護員の支援方法などサービスへのご意見には個々に対応いたしました。また、利用料金を銀行引き落としでの支払いを希望する意見が多くありました。検討中の旨、お返事いたしました。

『小さなお手伝い』で火災警報器を設置しませんか?

八千代市では、「火災予防条例」により、全ての住宅に住宅火災警報器の設置が、義務付けられています。既に取り付けられている火災警報器でも、設置から 10 年を経過した場合、電池の消耗、センサーや部品の劣化のため、場合によっては機器の交換を行う必要となります。当法人の『小さなお手伝い』活動で、火災警報器の設置及び交換を承ります。一般の住宅においては、台所、階段及び寝室の 3 か所に、火災警報器を設置することが推奨されています。

概算経費は、本体が 1 台当たり 1,780 円と 2,480 円の二種類がありますが、機器の費用以外に『小さなお手伝い』の費用として、500 円が必要となります。

是非、安全確保のために、住宅火災警報器の設置についてご検討を頂くと共に、ご近所にお住まいになっている高齢者の方々にも、『小さなお手伝い』を活用し、火災警報器の設置することが出来ると言う情報を教えてあげてください。『小さなお手伝い』サポーター 池田

【参 考】

火災警報器の設置について、『広報やちよ』H30.11.1 号に詳細な内容が掲載されておりますので、参考に見てみてください。

訪問時の突然の異変、支援者はどう対処する？（要介護 4 A さんの場合）

毎月のモニタリング訪問時、A さんとその次女とテーブルを挟み、今後の生活の意向を伺っているときであった。突然 A さんの様態が変わった。白目をむき、口からは涎が流れ、顔面はみるみる蒼白になっていく。私が大きな声で名前を呼び肩をたたくも、意識がない。迷わず、次女に『119 番電話してください』と頼み、電話の相手の指示「床に横に寝かせて、心臓マッサージをしてください！」に従う。ぐったりと腰かけている状態から、床に毛布を敷き横に寝かせ、私が心肺蘇生を試みると直に意識を取り戻し、呼びかけにかすかな声だが、答えることができた。救急車が到着し、次女も救急隊員の質問に慌てることなく答えることができた。

次女が病院への同行の際に、一緒に火の元、戸締りを確認し利用者宅を後にした。複数の疾患を持ち、日常生活のほとんどに介助を要する A さんだが、家族の手厚い介護で何とか在宅生活を送ることができていた。いつ何が起きても不思議はなく、家族は常に覚悟はできていたであろう。

我々支援する側は、さらに冷静な対応が求められる。要介護高齢者が安心安全に在宅生活を実現できる支えになれるよう、日々スキルアップに努めなければならないと思っている

【11月14日に開催されたユーアイ定例研修会の感想アレコレ】

テーマ：『よりよい在宅サービスを提供するためー精神疾患の利用者さん、認知症の方へのより深い理解を！』 講師：グリーンヒル大竹 暉 様

- ・「役割（利用者自身が人に役に立っている気持ち）」、「声掛け」の大切さや、係る人も環境であるとの考えは新鮮であった。また、『ユマニチュード』は、興味があるので学ぶ機会があれば考えてみたい。(M・T)
- ・うつ症状の人は、うつの背景にある悩みをよく聴き、関連の人達と連携を取りながら、支援する必要性ある と思いました。(A・T)
- ・認知症の原因・症状により、必要な対応の仕方を学びましたが難しいです。「ユマニチュードの4つの柱」は、とても勉強になりました。(K・M)
- ・障害のある方から「辛い」「うるさい」「怖い」等の話を聞いた時は、同調はしないが共感 はすること、利用者「後で」「もう少し」「待って」の対応は、相手に不安を残すことになること、特に認知症利用者への対応については、人が人を介護していること、寄り添って支えることの大切さを再認識しました。(S・K)
- ・ユマニチュードについて、「見る」「話す」「触れる」「役に立つ」を、しっかり意識して取り組みたいと思います。(T・T)



【ヘルパー人材の確保が緊急です！】

ヘルパー2級又は、初任者研修修了者の資格を持っていて、少しなら訪問介護をやってもいい！という方がお見えになりましたら、ユーアイやちよでお仕事をされるよう勧めてみてください。

また、今は資格はないが、ヘルパーの仕事に興味のある方には、初任者研修の資格取得のための受講料が、資格取得後3か月間業務を経過しますと、八千代市より5万円の助成があることを教え、受講を勧めてあげてください。



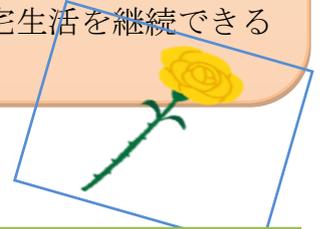
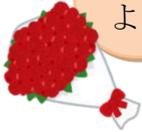
ユーアイやちよと共に 27 年

鈴木 静江

平成 4 年 4 月、“自分たちが老後も安心してできる在宅生活“を目標に、ユーアイやちよの有償ケの在宅ケア活動が始まりました。利用会員より、650 円/1 時間いただき、協力会員に 600 円を支払い、活動費用は 50 円！バザーに参加し、手作りのケーキや炊き込みご飯などを販売し、運営費にしていました。

平成 12 年 4 月からは、介護保険事業がスタートし、私もケアマネとして仕事を始めました。が、研修や専門誌などで勉強するものの、パソコンのできない者にとっては、計画書などの書類作成が大変で、事務所内の皆さんに教えてもらいながら、今日に至りました。それまで、時々ヘルパーの仕事も並行して携わりました。

ケアマネの仕事も徐々に減らし、H26 年 1 月からは週 1 回、“ふれあいサロンやちよ北“のボランティアスタッフとして参加、現在に至っています。サロンにはユーアイやちよの元ヘルパーさんもいます。私もこれからは、ボランティア会員です。27 年間には、初期がんの手術、骨折 2 回のため長期に休みました。私も立派な後期高齢者！いつ、介護保険のお世話になるかわかりません。ユーアイやちよの仕事はますます重要になってきます。どうか職員一同、一つになって協力し合い、利用者にとってよりよい在宅生活を継続できるよう頑張ってください。



中堅介護職員向け研修を受講して

伊藤 浩子

平成 30 年 11 月 21 日 於：八千代市民会館

業務のプロセスの改善、人材の育成と定着、日常業務の遂行、チーム作りについて、新しい視点を持つことで目標を立て、具体的な一歩を踏み出し、行動へと繋げるための、業務への向き合い方を学んだ。

情報の共有、向上心、コミュニケーションがとても大事なことを、改めて実感した。また利用者様の一人ひとりをも的確に把握することに努めるため、関係者間での情報交換は、これからはもしっかりやって行きたいと思いました。

～ヘルパーのリレーメッセージ～ 上田 早美 さん

- * ヘルパーとしての勤務期間 : 14 年 (ひまわり ST 含む)
- * 好きな言葉 ⇒ 『誠実』、『前進』
- * 仕事にあたって心掛けていること
 - ⇒ よく聞く、よく見る事
 - ⇒ 利用者様が求めている事をサービスの範囲内で、精一杯応えて行く事
- * 利用者さんから教えて頂いたこと
 - ⇒ たとえ病気になられても、元気に歩けなくても、自分らしく前向きに生きておられる事、
- * うれしかったこと
 - ⇒ 余り得意でない料理を「おいしかった」と言って頂いた事。
- * 仕事以外の楽しい事
 - ⇒ 友人との食事会やおしゃべりをする事
 - ⇒ コンサート、映画、ミュージカルを観る事



次回は、山田まり子さんです！

【行事報告】

【行事報告】

- 9/10 介護予防サロン運営者研修会
- 9/19 9月定例会 研修「法令遵守・リスク管理」
- 9/20 「語らいパートナーの会」定例勉強会
- 10月 ご利用者様アンケート実施
- 10/20 八千代市介護事業者協議会 業種別情報交換会
- 11/15・22・29・12/6 傾聴ボランティア養成講座
- 11/ 中堅職員向け研修会
- 11/21 11月定例会 研修「精神疾患・認知症のある方への対応」
- 11/24 千葉県たすけあい協議会、印旛ブロック研修会
- 12/13 勝田台元気プロジェクト



【今後の予定】

- 1/12 従業者新年会
- 1/17 「語らいパートナーの会」定例」勉強会
- 1/24 八千代台圏域生活支援体制整備協議体（第二層）
- 2/8 八千代市生活支援体制整備協議体（第一層）
- 3/2 ユーアイやちよボランティア会員交流会
「語らいパートナーの会」定例勉強会
- 3/19・23 3月定例会（第3火曜日・第4土曜日） 研修
「よりよい介護サービスのためのコミュニケーションと記録の要点」



傾聴ボランティア養成講座を終わって

去る11月15、22、29、そして12月6日の4日間、平成30年度の傾聴ボランティア養成講座を開催したところ、31名の受講がありました。今回は、福祉協議会との共催で開催しましたが、開催費用の負担、受講生の呼び掛けなど、福祉協議会のお世話になりました。

今回の傾聴講座への受講者は、単に傾聴ボランティアへの取り組みにとどまらず、傾聴を通じ高齢者を支える地域づくりに意欲のある方、高齢者への生活支援の担い手を目指される方など、傾聴ボランティア養成講座後の活動について、幅の広い取り組みが期待できそうでした。

講座では、講座初日に行われたカウンセラーの野坂哲夫先生の講義があり、野坂先生のユーモアにあふれた講義内容について、受講生から「わかりやすく、参考になった。」という感想を頂きました。また、当『語らいパートナーの会』の活動者による体験報告についても、講座終了後に提出して頂いた受講生のアンケートの回答の中で、「とても良かった。」との感想を頂きました。

